

- 問1 インドネシアは21世紀以降、漁獲量を急激に増加させ、2022年には約1200万トンに達しています。このようにインドネシアで漁業が大きく発展した背景にある、この国の地理的な特徴を説明したものととして最も適切なものはどれですか。 (2026年 大阪府公立入試 類似)
1. 広大な大陸棚を流れる長大な河川が多く、淡水魚の漁獲が中心であること
 2. 数多くの島々で構成される広大な排他的経済水域 (EEZ) を保有していること
 3. フィヨルドと呼ばれる複雑な海岸線により、波の静かな養殖の適地が多いこと
 4. アンデス山脈からの栄養分が流れ込む、寒流の影響を強く受けた海域であること
- 問2 東南アジア諸国の経済統計において、2000年から2018年にかけて進出日本企業数が急増し、主な輸出相手国としてアメリカ、中国、日本をバランスよく持つ国の特徴として正しいものはどれですか。 (2022年 鳥根県公立入試 類似)
1. 人口が東南アジアで最も多いため、輸出よりも国内の旺盛な消費が経済成長の最大の要因となっている。
 2. 一人当たりの国内総生産がすでにマレーシアやタイを大きく上回っており、労働集約的な産業から知識集約的な産業へ完全に移行している。
 3. 輸出の大部分を原油や天然ガス、天然ゴムなどの一次産品が占めており、工業製品の輸出はほとんど行われていない。
 4. ドイモイ政策による経済開放を背景に、工業化が進んで日本への輸出も拡大し、経済成長を続けている。
- 問3 インドネシア、タイ、ベトナムなどの国々が位置する地域において、加盟国間の経済成長や地域の安定を目的として結成された「地域協力」の組織を何と呼びますか。正しい名称を選択してください。 (2022年 鳥根県公立入試 類似)
1. 東南アジア諸国連合
 2. 主要20か国・地域会議
 3. 国際連合教育科学文化機関
 4. アジア太平洋経済協力会議
- 問4 アジア諸国間の経済・文化交流を促進するために計画された、日本の東京からトルコまでを繋ぐ「アジアハイウェイ1号線」の概要を説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 大分県公立入試 類似)
1. かつてのシルクロードの航路を忠実に再現した、海上における物流ルート
 2. 東南アジアや南アジアなどの広域を網羅する、アジアを横断する幹線道路網
 3. ASEAN (東南アジア諸国連合) の加盟国間のみを接続する高速鉄道網
 4. 東アジアの島国と内陸国をトンネルだけで結ぶ、地下交通のネットワーク
- 問5 2019年時点の世界の貿易統計において、輸出上位5品目に機械類のほか、ダイヤモンドや医薬品といった高度な加工を伴う工業製品、および石油製品が含まれている国として正しいものを次の中から選びなさい。 (2023年 岩手県公立入試 類似)
1. インド
 2. 中国
 3. マレーシア
 4. サウジアラビア
- 問6 中国がシェンチェン (深セン) などの沿海部の都市を経済特区に指定し、外国企業の進出を促した理由として最も適切な説明はどれか。 (2026年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 自国の伝統的な産業を保護するために、関税を高く設定して輸入を抑制するため
 2. 海外の進んだ技術や資本を導入して、国内の経済発展を加速させるため
 3. 公営企業の経営を安定させるために、外国製品の流入を制限するため
 4. 内陸部の農村地帯に工業を分散させ、地域間の格差を解消するため
- 問7 中国では1970年代から人口爆発を抑制するために「一人っ子政策」が実施されましたが、その後の統計において出生率が長期的に下降し続け、現在は非常に低い水準となっています。この状況が中国の将来に及ぼす、最も深刻な社会的問題として適切なものはどれですか。 (2024年 佐賀県公立入試 類似)
1. 都市人口の過度な集中
 2. 平均寿命の短縮化
 3. 少子高齢化による労働力不足
 4. 死亡率の上昇による人口急減
- 問8 中国において、1970年代末から始まった経済改革の一環として、外国の資本や技術を導入するためにシェンチェン (深圳) などの沿海部に設置された地域を何と呼びますか。 (2016年 岩手県公立入試 類似)
1. 経済特区
 2. 自治区
 3. 特別行政区
 4. 租界
- 問9 タイやインドネシアなどのASEAN加盟国では、近年、急速に工業化が進んでいる。その背景として、この地域で行われてきた取り組みや特徴を説明したものととして最も適切なものはどれか。 (2021年 岐阜県公立入試 類似)
1. 豊富な労働力や安価な賃金を背景に、海外からの企業の工場を積極的に誘致した。
 2. 天然ゴムや原油などの特定の原料のみを輸出するモノカルチャー経済を強化した。
 3. ヨーロッパ諸国のような単一通貨を導入し、域外との貿易を制限した。
 4. 加盟国間での労働力の移動や輸出入を完全に禁止し、自国の産業のみを保護した。
- 問10 インドでは近年、ICT (情報通信技術) 産業が急速に発展し、国の経済成長をけん引しています。この背景にあるインドの社会的な特徴や強みについて述べた文として、最も適切なものはどれかを選びなさい。 (2020年 静岡県公立入試 類似)
1. 広大な国土で採掘される豊富な原油や鉄鉱石の輸出を主な財源とし、それをもとにハイテク産業への投資を行っている。
 2. 公用語の一つである英語や、高度な数学教育の普及を活かし、ソフトウェア開発などのサービスを世界中に提供している。
 3. 世界最大の人口による安価な労働力を最大限に活かし、衣類や日用雑貨などの労働集約的な軽工業を成長の柱としている。
 4. 東南アジア諸国連合 (ASEAN) の中心メンバーとして域内の関税を撤廃し、周辺諸国との自由貿易によって工業化を進めている。
- 問11 近年のアジアにおける自動車保有台数の変化と、その背景にある社会状況についての説明として最も適切なものはどれですか。 (2020年 京都府公立入試 類似)
1. アジア各国では環境規制の強化により、2010年代後半からインドを含むすべての国で自動車保有台数が減少に転じている。
 2. 日本などの先進国では若者の車離れにより保有台数が2010年から半減しており、アジアの自動車市場はインド一極集中となっている。
 3. インドなどの新興国では経済発展によって自動車保有台数が急増しているが、日本は人口あたりの保有水準では依然として高い位置にある。
 4. インドの人口あたりの自動車保有台数が日本の水準を上回ったことで、アジアにおける自動車の普及は飽和状態に達した。
- 問12 世界の農業において、主要な穀物である米の生産が最も盛んであり、世界全体の生産量の約9割 (90%) を占めている州はどこですか。 (2021年 宮崎県公立入試 類似)
1. アジア州
 2. 北アメリカ州
 3. 南アメリカ州
 4. アフリカ州
- 問13 あるアジアの国では、人口密度が1平方キロメートルあたり約144人であり、輸出品目の第1位が機械類で、全体の4割以上を占めています。この国の産業や経済の状況を説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2017年 福岡県公立入試 類似)
1. 国内に豊富な石炭資源を持ち、それを主なエネルギー源および輸出品として活用している
 2. 高度な技術力を背景に、自動車や電子機器などの工業製品を主力として輸出している
 3. 広大な土地を利用した米の生産が盛んで、世界最大級の米の輸出拠点となっている
 4. 農業を主な産業とし、コーヒーや天然ゴムなどの特定の農産物の輸出に依存している

答え合わせ・解説

問1	答え 2 数多くの島々で構成される広大な排他的経済水域（EEZ）を保有していること	インドネシアは世界最多級の島々を持つ群島国家であり、それぞれの島を基点とした非常に広大な排他的経済水域（EEZ）を有しています。この広大な海域と、赤道直下の豊かな海洋資源を有効に活用するための整備が進んだことが、近年の漁獲量急増の大きな要因となっています。なお、ペルーなどで見られる寒流による好漁場や、ノルウェーなどのフィヨルドといった他国の特徴と混同しないよう注意が必要です。
問2	答え 4 ドイモイ政策による経済開放を背景に、工業化が進んで日本への輸出も拡大し、経済成長を続けている。	ベトナムはドイモイ政策によって経済を開放し、1990年代後半から2000年代にかけて急速な工業化を遂げました。この過程で、地理的に近く、かつ質の高い労働力を確保できることから日本企業の進出が相次ぎました。統計上、タイやインドネシアと比較しても2000年以降の進出企業数の伸び率が非常に高い点が特徴です。また、輸出相手国が特定の1カ国に偏らず、アメリカ、中国、日本という巨大な市場をバランスよく持っていることも安定した経済成長の要因となっています。
問3	答え 1 東南アジア諸国連合	この組織は1967年に結成され、アルファベットではASEANと表記されます。東南アジアの国々が協力し合うことで、経済的な発展だけでなく、紛争の回避や政治的な安定を図ることを大きな目的としています。冷戦期の対立を背景に誕生しましたが、現在は域内の関税撤廃などを進める経済共同体としての側面も強めています。
問4	答え 2 東南アジアや南アジアなどの広域を網羅する、アジアを横断する幹線道路網	アジアハイウェイ1号線は、アジア30か国以上をネットワーク化する広域的な幹線道路網の一部です。日本を起点に、韓国、中国、ベトナム、タイといった東南アジア、ミャンマーやインドなどの南アジア、そしてイランやトルコといった西アジアまで、アジア大陸を横断するように各国を道路で結ぶ構想であり、物流や経済交流の活性化を目的としています。
問5	答え 1 インド	インドは近年、急速な工業化と技術革新を背景に、伝統的な農産物や繊維製品の輸出から、医薬品や化学製品、ダイヤモンド加工といった高付加価値な工業製品の輸出へと構造が変化しています。サウジアラビアは原油の輸出が圧倒的な割合を占め、中国はパソコンや携帯電話などの機械類の割合が非常に高いという特徴があるため、これらと区別する必要があります。
問6	答え 2 海外の進んだ技術や資本を導入して、国内の経済発展を加速させるため	中国は経済特区において、所得税の減免や行政手続きの簡素化といった優遇措置を外国企業に提供しました。これにより、先進的な生産技術や豊富な外資を効率的に取り込み、遅れていた工業化と経済成長を急速に進める狙いがありました。
問7	答え 3 少子高齢化による労働力不足	長年にわたる一人っ子政策の結果、出生率が大幅に低下したことで、将来的に現役世代が減り、高齢者の割合が高まる「少子高齢化」が深刻化しています。これにより、経済成長を支えてきた豊富な労働力が不足することが、中国経済にとっての大きな懸念材料となっています。このため、近年では一人っ子政策が廃止され、出産を奨励する方針に転換されています。
問8	答え 1 経済特区	外国企業の誘致を目的として、特定の地域に限定して税金の優遇や規制の緩和を行ったエリアを「経済特区」と呼びます。1980年にシェンチェン、アモイ、スワトウ、チュハイの4カ所が指定されたのを皮わりとして、沿海部を中心に整備が進められました。これにより中国は市場経済を導入し、飛躍的な経済発展を遂げることとなりました。
問9	答え 1 豊富な労働力や安価な賃金を背景に、海外からの企業の工場を積極的に誘致した。	多くのASEAN諸国は、かつては農産物や鉱産資源の輸出に依存していましたが、外資系企業の誘致を進めることで「世界の工場」としての地位を築きました。特に安価で豊富な労働力を活用した機械工業や自動車産業の発展が目立っています。一方で、経済発展に伴い、加盟国間の経済格差の是正が現在の重要な課題となっています。
問10	答え 2 公用語の一つである英語や、高度な数学教育の普及を活かし、ソフトウェア開発などのサービスを世界中に提供している。	インドはかつてイギリスの植民地であった背景から英語が公用語の一つとなっており、欧米企業とのビジネスが円滑に行える強みがあります。また、伝統的に数学教育の水準が高く、優秀なIT技術者を多数輩出していることが、ICT産業の発展や経済成長の大きな要因となっています。石油などの資源輸出に頼る経済構造ではなく、サービス業や高度な技術力が強みです。また、インドは南アジアに位置するため、ASEAN（東南アジア諸国連合）には加盟していません。
問11	答え 3 インドなどの新興国では経済発展によって自動車保有台数が急増しているが、日本は人口あたりの保有水準では依然として高い位置にある。	世界の産業と人口の動向を見ると、アジアは経済成長の核となっており、それに伴い自動車保有台数も大きく変化しています。インドに代表される新興国では、所得の増加により自動車を手にする世帯が爆発的に増え、短期間で台数が倍増する現象が見られます。しかし、「人口あたりの台数」という指標で比較した場合、人口規模が非常に大きいインドや中国に対し、日本は人口に対する普及の割合が依然として高く、先進国としての特徴を保っています。このように、総数としての「勢い」と、人口比としての「普及度」の違いを理解することが重要です。
問12	答え 1 アジア州	世界の米の生産量は、中国やインド、インドネシアなどが位置するアジア州に圧倒的に集中しています。アジア州は世界の生産量全体の約90%を占めています。
問13	答え 2 高度な技術力を背景に、自動車や電子機器などの工業製品を主力として輸出している	人口密度が100人を超え、機械類の輸出が非常に高い割合を占めるのは、韓国などの東アジアの工業国の特徴です。これらの国々は、原材料を輸入して高度な工業製品を製造・輸出する加工貿易を通じて経済を発展させてきました。選択肢にある「米の輸出」や「石炭の輸出」は、この統計データの国（韓国付近）の特徴とは一致しません。